

平成 2 8 年 第 4 回 定 例 会 一 般 質 問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
松 屋 治 郎	<p>小値賀町の人口対策と地方創生について</p> <p>本町の 2015 年国勢調査の結果は、少子高齢化が進み、また地域を支える生産年齢人口 15 歳～64 歳も総人口の 45.4%となっている。</p> <p>農・漁業の後継者を始め、町全体が若年層を中心にした生産年齢人口の不足が目立ってきた。このことは、子どもの減少にも大きく関わってくる対策が急がれる。</p> <p>また一方では、退職者や高齢者等、もったいない人材が活かしきれてない。そのような状況の中、地方創生をいかに進めるのか。</p> <p>次の 3 点を中心に町長に伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若者が自信と安心を持てる働く場、雇用環境の整備について。 ② 子育て支援について。 ③ 退職者や高齢者の活用策について。 	町 長
今 田 光 弘	<p>今般のごみ焼却場からのダイオキシン大量発生に係る経緯と対応及び今後のごみ処理全般の考え方について</p> <p>先月、ごみ焼却場から排出された煤煙から、基準値を大きく超える煤じんとダイオキシンが検出されたとの報道があった。町は早急に業者に依頼して原因を調査し、改善を図ったようだが、町民への周知はなされず、特に目に見えない部分でもあることから不安の声が聞かれる。また、観光に力を注いでいる現状に大きく水を差すことにもなりかねない。</p> <p>以下の点について町長に伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今回の経緯を、日時を追って詳しく説明願いたい。 ② 直接的な原因及びそこに至った間接的な要因及び対応策は。 ③ 町民への周知をしていない（12月2日時点）のはなぜか。 	町 長

	<p>④ 今年度予定している焼却場の大規模改修工事により、あと何年程度稼働可能と考えているか。</p> <p>⑤ その後のごみ処理方針について、新たに焼却場を設置するのか、ごみゼロを目指すのか、町外へ搬出するのか現時点での考えを伺う。</p>	
<p>横山弘蔵</p>	<p>消防体制の充実について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 火災発生において初期消火の重要性は言うまでもないが、消防団以外の地域住民の初期消火活動を円滑に行なうための対策をどのように考えているのか伺う。 2. 住民の高齢化が進むなか、現在の消火栓などの設備を、地区住民が取り扱いやすい器具に替える必要があると思うが、どのような対策をとるのか伺う。 3. 消防団員の確保は年々厳しい状況になっている。今後、消防団の組織を見直す計画はないのか伺う。 4. 消防団員は、ときには危険をかえりみることのできないような活動を余儀なくされる。町民の財産、生命を守る大事な役目を思うとき、今の報酬以外に出動手当、訓練手当などを支給することはできないのか伺う。 	<p>町長</p>
	<p>高齢者人材センターの創設について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県下で一番の高齢化率である小値賀町において、シルバー人材を活かした町づくりは喫緊の課題である。高齢者の生きがいの充実、生活の安定、現役世代の下支え、地域社会の発展のためにも、シルバー人材センターの設置は必要ではないかと思うが、どのように考えているのか伺う。 2. 現在小値賀町は、あらゆる職場で人手不足、人材不足と言われている。当町の全人口の約半数を占めるシルバー人材を最大限に活かすことで、この問題をある程度、解決できるのではないかと。このシルバー人材を活用する対策をどのように考えているのか伺う。 	<p>町長</p>